【共生まちづくり学科】

担当教員	模擬講義		研究キーワード
	講義テーマ	講義内容	
安藤 直子	私の「あたりまえ」は、誰かの「あたりまえ」？ー文化人類学で考えるインクルーシブなまちづくりー	見えない世界と見える世界が交わる場面を疑似体験しながら、誰もが暮らしやすいまちづくりを考えます。多様な価値観が出会うその先にどんなワクワクすることが起きるか、共生のまちづくりの可能性を考えてみませんか？	文化、フィールドワーク、観光
大内 誠	人とテクノロジーが共生する社会	自動運転カー、ロボット、AIなどの先端テクノロジーがどのように利用されているのか例を挙げて解説します。また、それらのメリットや問題点を挙げ、人と共生するためにはどのような要件が必要かを一緒に考えます。	先端テクノロジー、AI、テクノロジー社会の問題点
庄司 知恵子	あなたにとって「地域」とはどこを指しますか？	社会学の視点から、「地域」について説明し、なぜ、いま「地域」が注目を集めるのかということについて、皆さんと一緒に考えていきます。	少子高齢化、地方創生、地域共生
野呂 拓生	地域を元気にする方法	「誰もが自分らしくいられる地域・まち」は、どうやったら作り持続させていけるのでしょうか。経済学の考え方、イノベーション創出の手法を取り入れながら考えていきます。	地域経済、イノベーション創出
松本 祥子	まちづくりは「宝探し」	あなたが住んでいる地域は、あなたにとってかけがえのない地域です。対話のなかで地域の「宝探し」をしてみませんか？	地域共生、家族
森 明人	地域共生社会の実現に向けて～幸福感を感じる地域づくり～	地域協働の計画づくりの意義と方法について学びます。また、策定した計画を実現していく過程から参加型の地域づくりのあり方を考えます。	人口減少社会、地域共生、地域福祉
荒井 壮一	お金とは何か？まちとは何か？～経済学の視点から考えてみる～	特に貨幣や物価・地価、金利などの視点から経済学の考え方を説明します。また、そうした経済学と「まち」の関連について考えていきます。	地域経済、物価の地域間格差、金融教育
大城 泰造	アートの力を社会の力へ	創作活動をとおして、自由に、感じるままに表現する。心が解放され、他者との関係も整っていく。これが臨床美術です。アートの力は子どもから学生、社会人、シニア世代まで、障がいや疾患のある人もない人も、内在する力を輝かせ、共生社会を実現する原動力となるのです。	芸術、感性、多様性
門脇 佳代子	地域文化としての仏像―身近なところにある美術史―	地域に伝わる仏像を手がかりに、身近な文化の価値を捉え直します。その土地ならではの背景を考えながら、文化の豊かさに気づく機会とします。	地域文化、文化財、仏像
工藤 健一	地域の課題解決に取り組むソーシャルビジネス（社会的企業）を知ろう	日本における少子高齢化・人口減少の進展とそれに伴って生じている様々な社会課題の現状を踏まえながら、ビジネスの手法を用いて地域課題・社会課題の解決に取り組むソーシャルビジネス（社会的企業）の可能性について学びます。	少子高齢化、地域課題、ソーシャルビジネス
品田 誠司	観光とアニメーション	日本のアニメーションは世界的な発信力を持ちます。同時に、観光や地域の産品と組み合わせると大きな影響を持ちます。このような「聖地巡礼」という現象について、アニメーションを中心に考えていきます。	アニメーション、聖地巡礼、観光
髙橋 俊史	ICT（情報通信技術）を活用した社会参加	コンピュータやインターネットを活用した障がい者の社会参加や、高齢者のICT活用について事例を紹介し、ICTを活用したまちづくりなどについて学びます。あわせて、ICTが引き起こしている社会問題についても検討し、これからの情報モラルなどについても考えます。	支援技術（アシスティブ・テクノロジー）、社会参加、デジタル・デバイド解消
中林 幸子	「調べられる人」と「調べられない人」は何が違うのか	同じ情報があっても、素早く的確に調べられる人と、うまく調べられない人がいます。その違いを身近な場面から考えます。情報にたどり着けるかどうかは、その人が地域で暮らしやすいかどうかにも関わります。図書館の役割を手がかりに、なぜそのような差が生まれるのかを一緒に考えます。	情報リテラシー、図書館サービス、社会的包摂